

級	審査項目	審査基準	審査方法	備考
基本10級	礼法	着座、黙想、座礼が正しく行える 正しい礼、蹲踞、構えが行える	着座、黙想、座礼、起立を行う 礼、3歩出て蹲踞、構え、5歩下がって礼を行う	
基本9級	足さばき	左足のかかとが着かず、左足が前へ出ず、送り足ができる	中段に構えた状態で体育館短手方向に連続的に送り足を行う	
基本8級	前進後退面-1	しっかりと声をだし、手と足のタイミングが合い、 前進後退面の素振りが行える	前進後退面10本を行う	
基本7級	前進後退面-2	手首も使って、しっかりと前進後退面の素振りが行える	前進後退面10本を行う	
基本6級	上下素振り	左手首が生きた状態で上下素振りが行える	上下素振り10本を行う	合格後 胴垂れ許可
基本5級	着装	胴垂れを一人で正しくつけられ、しまうことができる	胴、垂れを一人で着装し、しまう	
基本4級	跳躍素振り-1	手足のタイミングを合わせて、跳躍素振りが行える	跳躍素振り10本を行う	
基本3級	跳躍素振り-2	リズム良く、手首をつかって跳躍素振りが行える	跳躍素振り10本を行う	合格後 面付け練習許可
基本2級	面打ち	踏み込みができ、一本の要件を満たす面打ちができる	面打ち2本を行う	
基本1級	着装	面を一人で正しくあつかえ（持ち方・置き方・しまい方）、 正しくつけられる	面を持って立ち、座り、面を正しく置き、 面を着装する	合格後、府中市剣道連盟 の級審査受審可能